日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒280 千葉市要町2番8号（動力車会館）
電話（鉄電）千葉 2935・2936番
（公）千葉（22）7207番

90.10.1 No. 3287

組織絶滅粉砕、闘う方針確立へ

第17回定期大会へ その2 10月7～8日

全組合員の議論をもちよろう！

（日刊動労千葉第三二三四号より続く）

自衛隊派兵・天皇制の大反動をはね返そう！

大会で確立すべき第三の闘いの方針は、一挙に「戦後のタブー」を突破して、戦争への道を突き進もうとする支配階級、自衛隊海外派兵策動、天皇制復活の攻撃に対し、全国で闘う広範な労働者・人民との連帯を強化して、自民党海部内閣打倒の闘いをつくりだすことである。

政府―自民党は、イラクのクウェート侵攻―アメリカの中東侵略出兵にたんを発する中東危機に対して、「中東貢献策」と称して参戦国として名のりをあげ、今秋臨時国会では、自衛隊派兵への「法整備」が強行されようとしている。とんでもないことだ！

一旦自衛隊海外派兵のとめ金が外されれば、一瀉千里に改憲と戦争への急坂をころげ落ちることは明らかだ。

また、「即位の礼」「大嘗祭」を焦点として、国家をあげた天皇制攻撃の嵐が吹き荒れようとしている。天皇を「神聖不可侵」の権威として押し出し、天皇＝国家に反対する者は「非国民」「国賊」としようとしているのである。しかもこれを国家の暴力的な弾圧によって強制しようとしている。この秋にも、思想・言論・表現・結社の自由を一切否定する現代の治安維持法＝破防法が発動されようとしている。

まさに天皇制攻撃は、国家権力によって「民主主義」を叩き潰そうとする攻撃である。

しかも、こうした攻撃に対して、社会党・共産党をはじめ野党勢力は、おしなべて総屈服し、国益主義、排外主義の大合唱に加わってしまっている状況である。

われわれは、天皇制政府によって労働運動が流血の弾圧のもとに圧殺され、労働組合が「産業報国会」へと統合された結果、二千万人にのぼるアジア人民と三百万の日本人民の殺りくに帰結した歴史を、過去のことにしてではなく、現在の問題として見すえなければならない。全労働者の課題として、自衛隊海外派兵、天皇制との闘いをつくりあげなければならない。

いかなる攻撃にも揺がぬ組織強化を！

大会で確立すべき第四の闘いの方針は、一切の闘いの基礎として、どのような攻撃にも揺がない強固な団結力を鍛えあげ、組織強化をかちとることである。

われわれはこの間、七五〇名組合員の底力をいかんなく発揮し、敵の攻撃をはね返し、逆に全情勢をけん引する闘いを実現してきた。

しかし、問われている課題と、われわれの力量との間には、まだまだ大きなかい離があることを率直に認めざるをえない。

動労千葉の路線の正しさは、この間の闘いによって証明されている。

この闘いの路線と、全組合員の力がガッチリ結合したときに、その力は二倍にも三倍にもなる。

われわれは今こそ「一人ひとりが活動家に」の精神を発揮し、さらなる飛躍をかちとらなければならない！

第一七回大会は、動労千葉の新たなる飛躍への第一歩である。

（つづく）

一〇、一四三里塚現地
全国総決起集会に結集せよ！

一、日時　一〇、一四（日）正午
二、場所　成田市南三里塚、反対同盟所有地
三、集合　成田駅前、一〇時三〇分
四、動員　各支部、営業協議会とも全力動員！

（第十七回定期大会）
◉十月七日十三時～八日
◉館山国民休暇村にて
（館山駅よりバス 約8km）
集まろう！議論を持ちよろう！